

令和5年度 事業計画

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

一般社団法人 北海道ビルヂング協会

ビル業界は少子高齢化、人口減少等の構造的な課題に加え、コロナ禍、さらにカーボンニュートラルといった新たな課題に直面している。コロナ禍においてはオフィスでの働き方が変化し、オフィス空間に求められる役割もコミュニケーションやイノベーションの場としての役割が強くなり求められつつある。さらには、カーボンニュートラルへの取組はオフィスビルの省エネ性能の向上、環境負荷の少ない素材の利用促進に向けた着実な取組みを着実に進めることが求められている。引き続きクリエイティブな成果物を創造する場の提供とより知的生産性の高いオフィス空間の提供に努めるとともに、安全・防災性能の向上、地球環境問題やデジタル化への対応など様々な課題に的確に対応していかなければならないものとする。

当協会は、今後とも会員各位のビル経営管理の質的向上への支援に努めるとともに、北海道の経済活動を支え、豊かで魅力ある街づくりに貢献するための活動を積極的に展開し、都市の健全な発展に寄与することを目指す。

これらを踏まえ、本年度は会員の利便性向上も念頭に次の諸活動に注力することとする。

[税制等政策活動]

(一社)日本ビルヂング協会連合会、各地方協会との連携を図り、土地に係る固定資産税の負担調整措置の拡充、都市の低未利用土地対策のための特例措置の延長、建築物に係る多重課税の見直しなどを基本として税制改正要望活動を行っていく。

[組織活動の強化と広報活動]

1. 令和4年度末の会員数は、組織強化に努めた結果、前年度末と比較して正会員は2社増1社減で60社に、賛助会員は2社増で27社、計87社であった。本年度も引続き、正会員・賛助会員の増強による組織強化に努める。
2. 例会の活発化を図り、「中小ビル経営研究会」、「実務担当者の会」、「青年部会」の活動を充実させ、知識向上と人材育成を図る。
3. 地方都市での情報交換会等を実施し、更に地方会員との連携・強化を図る。
4. 賛助会員におけるビジネス交流会を開催し、賛助会員とも交流を深め、活性化を図る。
5. 前年度に全面リニューアルした当協会のホームページ HP を活用して定期的な「事務局だより」の掲載、ビル経営に関する情報掲載等を行い、よりきめ細かく協会の事業活動を広報することに努める。

[研修活動]

1. 会員ニーズに対応した例会を適宜実施する。
2. 連合会に協力して「ビル実態調査」を実施し、調査結果をまとめ会員に配付する。
3. ビル経営管理士の知識向上のための研修会等を実施する。
4. ビル経営に関する各課題について調査、研究活動を進める。

[財政計画]

1. 前年度は事務局体制変更もあり、収支は大きく支出超となったが、本年度は会務運営にあたってはなお一層の工夫改善を図り、諸経費の節約に努めながら収支均衡を図るとともに、会員のニーズに対応した諸活動を積極的に推進する。

[(一社)日本ビルディング協会連合会日本ビルディング経営センターの積極的な活用]

1. これまでビルの経営管理に関する人材育成、知識の普及を図るビル業界唯一の機関として事業を展開してきた(一財)日本ビルディング経営センターは、令和5年4月1日に(一社)日本ビルディング協会連合会と合併し、その附属機関として引き続き「ビル経営管理士」制度の運営・管理を行っている。当協会は会員のビル経営管理士試験受験の増大を図るとともに、ビル経営管理士に対する社会的理解の促進を図るための活動を支援する。
2. (一社)日本ビルディング協会連合会日本ビルディング経営センターが実施する研修会、講習会等について積極的な参加を推奨する。

[その他]

1. 国および地方公共団体が実施する都市問題施策等へ積極的な協力を行う。

以上